



- 66人の新入社員が発電所に着任しました[発電所ニュース]
- サービスホール春のイベントを開催しました[発電所ニュース]
- 東京商工会議所・新潟県商工会議所連合会の皆さまに発電所の安全対策をご視察いただきました[発電所ニュース]
- 発電所の将来を担う、新入社員の育成に取り組んでいます[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● FMピッカラで発電所の情報をお届けしています ● 地域の皆さまとともに
- サービスホール5月の催し

「マーガレット」
西山町大坪

66人の新入社員が発電所に着任しました

東京電力では、4月1日に748人が入社し、このうち柏崎刈羽原子力発電所に66人が着任しました。入社式後には、会社に関するレクリエーションゲームを行い同期での結束を強めてもらいました。

また、研修では所長の稲垣から「地域の皆さまと触れ合い、地域にとけ込んで欲しい」「ワンチームになるために発電所で働く皆さんと積極的にコミュニケーションをとって欲しい」といったメッセージを伝えました。



新入社員の様子は、YouTubeでも紹介しています



新入社員の声

すなみ たすく
三條市出身 須波 佑之

多くの人々の生活基盤を支える一員になりたいと思い入社を決めました。他者から信頼され、自分に誇りを持てる社会人を目指していきます。まずは、研修で仕事内容や会社の事を学び、当たり前のことを当たり前に行えるよう頑張っていきます。



ふなた そら
宮城県出身 船田 空良

日々、誠実な行動を大切にして、人から信頼される社会人になりたいです。知識・技術を積極的に習得し、実際の現場で役立てていきます。また、地元東北の復興にも貢献していきたいと思っています。



いわま ましゅう
神奈川県出身 岩間 茉秀

日本の社会を支える仕事がしたいと思い入社を決めました。常に学ぶ意識を持ち、何事にも挑戦していきます。分からないことがあれば、先輩に相談し業務を進めていきたいです。



おおつ そうあ
柏崎市出身 大津 創葵

地元出身ということもあり、発電所での業務を通して地域の皆さまに貢献していきたいと思い入社を決めました。業務に必要なことを早く覚え、会社や地域の皆さまの役に立てるように頑張りたいです。



きたむら みゆ
柏崎市出身 北村 実夢

様々な地域活動を通じて、地域に寄り添いながら仕事をしたいです。感謝の気持ちや思いやりを持って業務に取り組み、早く貢献できるように頑張っていきます。



サービスホール春のイベントを開催しました

4月20日に「サービスホール春のイベント」を開催しました。地域の皆さまのご意見を拝聴しご不安にお答えする「コミュニケーションブース」と、発電所構内の安全対策などをご視察いただく「発電所構内見学ツアー」などを実施しました。たくさんの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。

コミュニケーションブースには、200人を超える方にご参加いただきました。ご来場の皆さまからは「発電所は近くにあったが、中には入ったことが無かったので身近に感じる事ができた」「様々な年代の人が楽しめるイベントで良かった」といったご意見を頂戴しました。

今後も様々なイベントを企画してまいります。夏イベント(7月頃)へのお越しをお待ちしております。

サービスホールの
年間イベントについては
YouTubeでも紹介して
います。ぜひご覧ください。



エコロンじゃんけん



工作コーナー



コミュニケーションブース

東京商工会議所・新潟県商工会議所連合会の 皆さまに発電所の安全対策をご視察いただきました

4月9日、東京商工会議所・新潟県商工会議所連合会の皆さまにご視察いただきました。

視察後、小林東京商工会議所会頭より「福島第一原子力発電所事故を踏まえた多重の安全対策、厳重なセキュリティ対策に感銘を受けた。首都直下地震のリスクに備えるためにも、柏崎刈羽原子力発電所の早期再稼働が不可欠である」というお言葉を頂戴しました。





発電所の将来を担う、 新入社員の育成に取り組んでいます。

発電所に、66人の新入社員が着任しました。
一人前になるために新入社員は
様々な研修、現場体験に取り組んでいます。
今回は、新入社員の導入研修や
発電所員の人財育成を担当している
2名に話を聞きました。

(2025年4月取材)



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
原子力人財育成センター
柏崎刈羽人財育成グループ

いしもと えりか
石本 恵里香

総務部
労務人事グループ

みとみ なおみ
三富 奈緒美

Profile

石本 恵里香

福井県出身。柏崎市在住。2024年1月入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。前職では福岡市消防局で約7年半、消防職員として救急隊などを経験。その後、入社し現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でお気に入りの場所】柏崎潮風マラソンのコースです。特にえんま坂がお気に入りです。上り坂は苦しいですが自分が試されている気持ちでワクワクします。

三富 奈緒美

柏崎市出身。柏崎市在住。1987年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。総務部内の業務(資材、労務、総務)、所長付、安全施設建設センターでの予算管理業務などを経て2023年7月より現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でお気に入りの場所】柏崎市椎谷岬にある「夕日が丘公園」は日本海が一望できて天気の良い日は夕日も綺麗です!

— 普段の業務内容を教えてください。

石本 新入社員の育成を担当しています。新社員には原子力発電所に関する基本的な知識や技術・技能について、4月中旬から9月末まで学んでもらいます。また、業務のベースとなる社会人としての振る舞いや人間的成長を促すきっかけとなる仕組みづくりを推進しています。人材育成は、正解が一つではないからこそ難しいですが、会社組織の雰囲気をつくるのは社員一人ひとりなので、とても大切だと思っています。

三富 社員の採用および退職に関する業務を行っています。新卒採用では、学校訪問や会社説明会など社外での採用活動にも取り組んでいます。その他、企業倫理、人権保護に関する活動の事務局として、所員への啓発を行っています。

— 新入社員研修では、どのような対応をしているのですか。

石本 半年間かけて行う研修の企画や、研修期間中は、担当者として新社員との朝礼、夕礼、受講中の様子確認などを行っています。新社員のためになるような一言を朝礼などで伝えるようにしています。

三富 入社してすぐに約2週間行う導入研修を担当しています。社会人として必要な基礎知識（ビジネスマナー、社会人としての自覚・振る舞いなど）、当社社員として必要な基礎知識（業務概要、経営課題、経営戦略など）の研修や社内制度の手続きなど内容は多岐にわたります。会場準備、日々の事務連絡を行い、新入社員がスムーズに受講できるようにしています。

— 新入社員にはどのような人財に育ててほしいですか？

石本 知識や技術を身につけるだけでなく、自分自身の成長を自分ごととして捉え、無限に成長できるチャンスがあることに気付いてほしいと思っています。小さな成功体験を積み重ねて、人間的な成長を感じてほしいです。そのために、自分の成長の可能性に気付けるようなワークを取り入れています。また、規律を守る、当たり前のこと

を当たり前にすることを新入社員研修の期間で習慣化できるようにしていきます。

三富 まずは、社会人としての自覚を持ち、社会人としての振る舞いを身につけて“誰からも愛される新入社員”になってほしいです。ゆくゆくは、多くの経験を積んでいく中で、会社や地域に貢献するためにできること、やるべきことを主体的に考えて行動できる人材になってほしいです。

— 業務で心がけていることを教えてください。

石本 明確に答えがある事柄に対して、「何をするか、どうするか」というwhatやhowを伝え、教えるという一方通行的なコミュニケーションにならないように心がけています。時には、答えが一つではない「なぜするのか」というwhyの部分問いかけて自分の中で考え、自分なりの答えを生み出していけるようにしています。

三富 環境の変化による不安やストレスなどを抱え込まずに研修に集中できるよう、積極的に声掛けをしています。また新入社員同士で早く一体感の醸成（ワンチーム）ができるように、自分に何か手助けできないか考えながら接しています。どの業務にも共通することですが、丁寧に相手にとって分かりやすい対応を心がけています。

— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

石本 一人ひとりの強みを生かしながら、ワンチームで頑張っていきます。地域の皆さまに信頼していただけるようにあるべき姿を促えた仕事に取り組んでいます。

三富 地域の皆さまから信頼していただけるよう、発電所の一員として真摯に業務に取り組みます。

昨年度の新入社員に話を聞きました。

たなはし はると

棚橋 晴人 広報部行政グループ

入社前からとても対応が良かったのを今でも覚えています。入社後には、研修中に困った時に助けていただき嬉しかったです。



おしえて! エコロン



Q 使用済燃料の号機間輸送が終わったと聞いたけど、現在の使用済燃料プールの状況はどうなっているの？

他の号機に使用済燃料を輸送すること(号機間輸送)や青森県むつ市にある中間貯蔵施設へ輸送すること(使用済燃料輸送)で、使用済燃料プールの空き容量を確保しています。

現在、発電所では13,683体の使用済燃料を保管しており、管理容量※に対して約81%の貯蔵率となっています。

※貯蔵容量から1炉心分(1～5号機:764体、6・7号機:872体)の燃料を除いた容量(炉心の燃料を燃料プールに移動する際、空けておく必要があるため)

● 燃料プールの保管状況

■ :号機間輸送 ■ :中間貯蔵施設への輸送

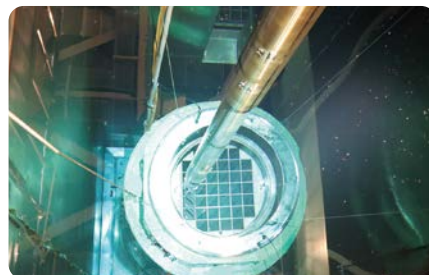
	貯蔵容量(体)	管理容量(体)	貯蔵量(体)	貯蔵率(%)
1号機	2,790	2,026	1,835	約91
2号機	3,239	2,475	1,759	約71
3号機	3,212	2,448	1,733→2,113	約71→約86
4号機	3,209	2,445	1,660→1,591	約68→約65
5号機	3,175	2,411	1,934	約80
6号機	3,410	2,538	2,324	約92
7号機	3,444	2,572	2,507→2,127	約97→約83
合計	22,479	16,915	13,683	約81

(2025年3月31日時点)

号機間輸送

7号機は使用済燃料プールの貯蔵率が約97%(貯蔵量の約3割は、他号機から輸送された燃料)であったことから、貯蔵率に余裕のある3号機に使用済燃料380体を輸送(号機間輸送)しました。これにより、7号機の貯蔵率は約83%になりました。

引き続き、発電所全体での使用済燃料の貯蔵率の均一化をはかり、安定的に発電所運営を行ってまいります。



中間貯蔵施設への輸送

2024年9月に柏崎刈羽原子力発電所から青森県むつ市にあるリサイクル燃料貯蔵センターに使用済燃料69体を輸送しました。また、2025年第3四半期には、使用済燃料138体の輸送を計画しています。



FMピッカラで発電所の情報をお届けしています

柏崎のコミュニティラジオであるFMピッカラで、発電所の安全性を向上させる取り組み状況やサービスホールで開催するイベントの情報などを放送しています。

また、地域の皆さまのご質問に発電所の社員が答えする新シリーズ「地域の皆さまのご質問にお答えして」の放送を開始しました。皆さまぜひ、お聴きください。

●放送時間／【平日：1日3回】①8時10分～ ②12時50分～ ③17時25分～
【土日：1日1回】①10時50分～



RADIO KASHIWAZAKI 76.3MHz
FMピッカラ 76.3MHz

地域の皆さまとともに～社員による地域活動～

発電所では、2025年度も地域活動として、地域の皆さまとともに様々な活動に取り組んでいます。

4月6日の早朝、荒浜海岸の除砂作業に当社社員が参加しました。原子力・立地本部長の福田、発電所長の稲垣をはじめとする約40人の社員が参加し、地域の皆さまと声を掛け合いながら作業を行いました。



Webアンケートはこちら

添付のはがきのほかに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式LINEアカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



きりとり線



発電所公式Instagram

発電所の日常や設備などについて、リール動画などで投稿しています!



① 発電所について知りたいことをお聞かせください。

② 発電所の情報に限らず、日々の生活で何から情報を得ていますか?(複数回答可)

☐ テレビ ☐ 新聞 ☐ Webサイト ☐ 雑誌

☐ ラジオ ☐ LINE ☐ Instagram

☐ Facebook ☐ YouTube

☐ その他()

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール5月の催し

参加無料

工作教室

土・日 開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



難易度★
ぴかっとキーホルダー



難易度★★
アイスクリームキャッチ



難易度★★★
カップかえる

お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

4062

差出有効期間
2026年11月30日
まで

(切手不要)

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行



ふりがな _____ 年齢 _____ 歳

お名前 _____ 男・女・回答しない

〒

ご住所 _____

電話番号 _____

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2025年5月号)

東京電力ホールディングスYouTubeチャンネル

今月のおすすめ YouTube動画



柏崎刈羽原子力発電所の 副所長へ7つの質問!

柏崎刈羽原子力発電所の所員が、
日々どのような思いで働いているかを
紹介します。今回は、副所長の割田に
一問一答してきました!
ぜひご覧ください!



ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



■今月号の表紙／「マーガレット」

撮影場所：西山町大坪

撮影時期：2019年5月



2025年5月11日発行

●編集発行責任者

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所 広報部

企画広報グループマネージャー

〒945-8601

柏崎市青山町16番地46

☎ 0120-120-448

(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所

